



- 研修会での学びを積極的に活用しましょう・伝講しましょう -

「夏休み親子理科実験教室」

8月9日(水)に市内の小学生を対象に「夏休み親子理科実験教室」を行いました。昨年度はコロナの感染拡大で中止になったこともあり、当日は市内の親子73名に参加していただきました。講師は、宮城県総合教育センターの先生方でした。暑さ対策として、エアコンの効いた研修室内での実験教室に場を変更しました。

実験教室の内容は、開会行事に続き、液体窒素を使った実験や空気砲などのデモンストレーションを全体の場で行っていただきました。バラの花や濡れた雑巾が液体窒素の中で一瞬にして凍り、凍った雑巾で釘を打ち付ける様子に驚きの声が上がりました。目の前で起きる不思議な現象に目を丸くして見入ったり、大きな歓声が響いたりしながら、デモンストレーションが終了しました。その後、ものづくり・実験・観察の3つのグループに分かれて親子理科実験教室を行いました。どの実験教室も、親子で協力しながら取り組む姿や子供の取組を優しく見守る姿などが見られ、笑顔がいっぱいでした。最後に、校庭でペットボトルロケットを代表者に飛ばしてもらいましたが、校庭の端から遠くまで飛ぶ様子や高く上がる様子に歓声が響き渡っていました。参加した皆さんにとって科学への興味・関心を喚起し、夏休みの楽しい思い出の一コマになったようです。



【巨大空気砲】



【木炭電池づくり】



【ペットボトルロケット】

【感想・児童】

- ・いろいろな家でできないことができてよかった。とくにものづくり教室が楽しかった。
- ・液体窒素にバラを入れると凍ってパリパリになるのを知った。
- ・空気砲から輪が出てくるのがびっくりした。観察教室も比べるのが楽しかった。
- ・毎年面白いので、来年も行くのでよろしくお願いします。
- ・災害の時に電池がその場がない時などに、木炭電池が使えるなあと思った。
- ・風車を作る教室では、友達と楽しく作り遊ぶことができて良かった。

【感想・保護者】

- ・どの実験も子供たちの驚きの声が聞けたのでとても楽しんでいると思いました。
- ・子供たちの反応がすごく良くてびっくりです。興味があることは、危なくない範囲で経験させられるのってとても大事ですね。
- ・子供が理科に興味があり、ずっとこういうことに参加したがっていたので良かったです。夏休みの自由研究にも役立つと思います。
- ・いろいろな教室で変化もあり、子供たちもあきず興味津々に目を光らせ参加できた姿が見られ、保護者もとても感動しました。来年もぜひ参加させてあげたいと思いました。

「市町村教委研修Ⅱ学級づくり研修会」

8月17日（木）に市内の初任者や希望者を対象に市町村教委研修Ⅱとして「学級づくり研修会」を行いました。講師は、前瀬戸SORAN小学校長 横藤雅人先生でした。横藤先生は昨年度から「学級づくり研修会」の講師としてご指導いただいておりますが、今年度は札幌市内の小学校に学びのサポーターとして勤務している経験も加味しながらの講話で、一つ一つ説得力があり、納得しながら聞き入る様子が見られました。

講話の内容は「縦糸と横糸のバランスのとれた学級経営」について、1学期後半からの学級経営のチェックポイントを縦糸5項目（①授業の開始が決められた時刻から30秒以上遅れることはない②子供の机の上や中、下に不要な物はない・・・）、横糸5項目（①教師は毎日子供たちと話したり遊んだりしている②教室にはよく明るい声が響く・・・）を順序とバランスのとり方を基に分かりやすく説明いただきました。後半はグループで問題場面を設定し、その解決策を提案し合う演習を行いました。最後に「縦糸・横糸を豊かに張ることのできる教師になるために」①教育は複雑な仕事。うまくいかないのは当たり前。だからこそやりがいがある。②子供、人間を信じる力を。手のかかる子とのめぐり合わせに感謝をなど、8点からなる貴重な示唆をいただきました。

事後の感想には「横藤先生の体験に基づくお話は大変勉強になりました。荒れている学級を立て直すための再建のヒント『時を守り 場を清め 礼を正す』は、自分の学級経営にも反映させていきたいです」「夏休み明けどのような様子の子供たちと会えるのかと少し不安を感じていました。ですが、今回の研修を受け、これもしてみたい!あれもしてみたい!と前向きに夏休み明けのことを考えられるようになりました。ノートに子供たちと取り組むことを挙げていくと、ノートがいっぱいになりました」「横糸・縦糸チェックで学級の状況をグラフ化すると、自分の今後の課題が明確に分かり、夏休み明け、特に力を入れてみたいことを考えることができました」などがありました。

